

トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年12月2日～2017年12月8日までの推移】

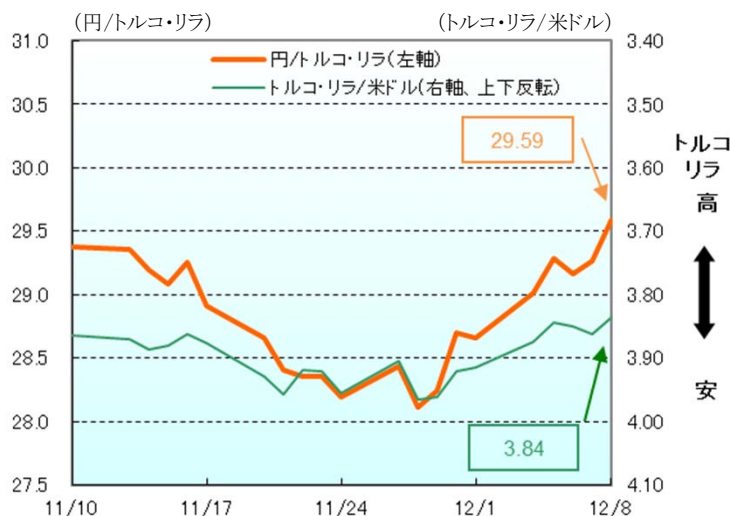
【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通して見ると対米ドル、対円で上昇となりました。またトルコの2年国債金利は低下しました。

11月の消費者物価指数の上昇率は前年同月比で+12.98%と市場予想を上回りました。一方で、エネルギー、食料、飲料、タバコ、金などを除いたコア指数については、サービス価格の鈍化などを受けて、市場予想ほどは加速しませんでした。

トルコ金融市場では、コア指数が市場予想を下回る伸びにとどまったことを好感し、1週間を通して見ると為替・債券共に堅調に推移しました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年11月10日～2017年12月8日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

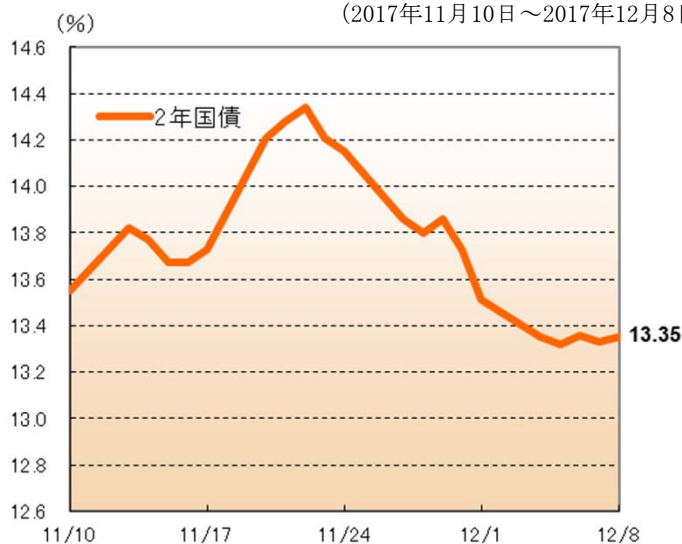
【2】今週の見通し

今週は、10月経常収支、7-9月期GDP(国内総生産)などの発表に加えて、14日(現地)には金融政策委員会の開催が予定されています。事前の市場予想では、後期流動性貸出金利の引き上げが見込まれています。引き上げ幅についての予想は分かれているものの、1%引き上げるとの見方が多くなっています。

引き続きトルコ・リラの動向に注目が集まりやすいと想定します。足元では金融政策委員会の判断が待たれることからトルコ・リラは落ち着いた動きとなっていますが、トルコ中央銀行が十分な金融引き締め姿勢を示せるかが相場を動かす材料になりやすいと考えます。

【トルコ 金利推移】

(2017年11月10日～2017年12月8日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>